

令和元年度

地方独立行政法人福岡市立病院機構に
係る業務実績に関する評価結果報告

福 岡 市

目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
(2) 小項目評価	
福岡市立病院機構の概要	9
全体的な状況	11
項目別の状況	18
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 医療サービス	18
2 患者サービス	38
3 医療の質の向上	46
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	58
2 事務部門の機能強化	60
3 働きがいのある職場環境づくり	62
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	64
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の強化	66
2 収支改善	72
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	84
2 福岡市民病院における経営改善の推進	86
第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	88
第6 短期借入金の限度額	91
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	91
第8 剰余金の使途	91
第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項	92
〈参考資料〉	
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	93
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	95

はじめに

福岡市は、地方独立行政法人法第28条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の令和元年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会において、評価に関する意見を聴取し、平成30年6月22日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委 員 長	松 浦 弘	福岡市医師会 副会長
副委員長	福 田 治 久	九州大学大学院医学研究院 准教授
委 員	藤 也 寸 志	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 院長
	大 和 日 美 子	福岡県看護協会 会長
	行 正 晴 實	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

第3期中期目標期間の3年目である令和元年度の業務実績に関する評価については、小項目評価の結果を踏まえ、第1の大項目評価は「評価A」、第2、第3及び第4は「評価B」となる。

この大項目評価の結果を踏まえ、両病院ともに、医療水準の更なる向上を目指し、医療機能の強化や経営の効率化等に取り組んでいることなどから、令和元年度の業務実績は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

福岡市から独立した法人として、理事長を中心に、両病院と運営本部が一体となった運営体制を構築し、経営管理の徹底を図っている。

福岡市立こども病院においては、これまで培ってきた小児医療及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、胎児循環器科を新設するなど患者ニーズや医療環境の変化に即した診療体制の見直し等を行っている。

福岡市民病院においては、4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療及び高度救急医療の更なる充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染症への対応では、第二種感染症指定医療機関として福岡市における感染症医療の中心的な役割を果たしている。

経営収支面では、施設基準に必要な運用方法の見直し等により増収を図るとともに、経費全般において価格交渉の徹底等により費用削減にも取り組んだ結果、市立病院機構全体で6億300万円余の当期純利益を確保しており、経営の安定化が図られている。

全体評価にあたって考慮した内容

〈特筆すべき取組〉

〈福岡市立こども病院〉

- ・胎児心臓病に特化した胎児循環器科を新設し、出生前管理及び出生後の治療提供体制強化に取り組んだ。
- ・腎疾患科及び内分泌・代謝科における移行期クリニカルパス構築など、地域医療や医療連携に取り組んだ。
- ・タイ王国の大学が主催する熱帯医学短期研修への医師の派遣や各種研修の実施などスタッフの専門性や医療技術の向上に取り組んだ。

〈福岡市民病院〉

- ・PCIを含む手術や経皮的心筋焼灼術等の専門性の高い手術に取り組むなど、高度専門医療の更なる充実を図った。
- ・福岡市内の急性期病院において脳卒中連携パスの使用実績が最多であり、「特定行為研修指定研修機関」としての認定を受けるなど、地域医療や医療連携に取り組んだ。
- ・職員が長く働き続けられる職場環境づくりの推進により、看護職員の離職率の低下につながった。

〈両病院〉

- ・新型コロナウイルス感染症への対応については、迅速な体制整備を行うとともに、積極的に患者を受け入れた。

評価にあたっての意見, 指摘等

- ・新型コロナウイルス感染症による開業医への受診抑制などもあることから, 地域全体で情報交換しながら目標を立てる必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症以外の疾患についての受診控えも病院経営に影響するため, データ分析, 今後の戦略を検討されたい。
- ・評価にあたっては, 目標値や前年度実績値と比較することになるが, 実績値に重きをおいて評価してもよいのではないか。

第2項 項目別評価

(1) 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 A (計画以上に進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 120 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計)／b 標準点×100) ※小数点以下切捨て				
両病院が、高度専門医療における診療機能の強化・充実を図るとともに、地域包括ケアシステムに関わる役割を果たし地域医療への貢献や推進を積極的に行っている。多数の項目で目標を上回る成果を上げており、計画以上に進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目		評価	ウエイト	ウエイト換算	
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応	4	2(注)	8	
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	3	2	6
		市民病院	3	2	6
	(2) 情報発信	3	1	3	
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
合計			23	a 83	
標準点(※全ての小項目評価が3)			b 69		

(注) 新型コロナウイルス感染症対応のため、ウエイトを「1」→「2」とする。

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 ア福岡市立こども病院」

○一部の指標で目標値を下回っているものの、紹介率・逆紹介率、医療的ケア児のレスパイト入院の受入実績などは目標値、昨年度実績を上回っており、腎疾患科及び内分泌・代謝科で新たに移行期クリニカルパスを構築するなど、地域医療や医療連携に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実践していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 イ福岡市民病院」

○一部の指標で目標値を下回っているものの、紹介率・逆紹介率は高水準で目標値を上回っており、福岡市内の急性期病院において脳卒中連携パスの使用実績が最多であり、院外看護師研修生も受け入れる「特定行為研修指定研修機関」として認定されるなど、地域医療や医療連携に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応」

○福岡市民病院においては、新たに災害時事業継続計画を策定するとともに、両病院とも新型コロナウイルス感染症の流行に際して、患者増加を見込み、受入体制を整えるなど、迅速かつ的確に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 ア福岡市立こども病院」

○タイ王国の大学が主催する熱帯医学短期研修への医師の派遣、委託業務職員に対する研修会の開催などスタッフの専門性や医療技術の向上などに積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 イ福岡市民病院」

○職員が長く働き続けられる職場環境づくりの推進により看護職員の離職率を減少させ、看護師の特定行為に係る「特定行為研修指定研修機関」の指定を受けるなど、病院スタッフの確保及び資質向上に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(2) 信頼される医療の実践 ア福岡市立こども病院」

○新たにNICUへの病棟薬剤師配置、全職員に対するTeam STEPPS推進の研修会の開催、クリニカルパスの対象科数増加など医療安全対策に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(2) 信頼される医療の実践 イ福岡市民病院」

○全ての指標で目標値・昨年度実績を上回っており、病院機能評価3rdG:ver2.0の認定、200床以上の医療機関との比較によるクリニカルパスの高い使用率など、医療安全対策に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

- ・新型コロナウイルス感染症の対応では、両病院は公立病院としての役割をしっかりと果たした。
- ・福岡市民病院は、PFM(Patient Flow Management)センターを新設し前方調整を頑張っている。後方調整・後方支援も重要なので、前方調整とともに力を入れられたい。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応など、文章だけで書かれているが、数値を記載した方が市民にわかりやすい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B (おおむね計画どおり進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 100 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計)／b 標準点×100) ※小数点以下切捨て				
地方独立行政法人の特長を生かした自律的・機動性の高い病院経営が行われている。働きがいのある職場環境づくりにも積極的に取り組むとともに、法令に基づき内部統制も適正に維持されていることから、おおむね計画どおり進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目	評価	ウエイト	ウエイト換算
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	3	1	3
2 事務部門の機能強化	3	1	3
3 働きがいのある職場環境づくり	3	1	3
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	3	1	3
合計		4	a 12
標準点(※全ての小項目評価が3)		b 12	

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

特になし。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

- ・福岡市立こども病院の戦略的分析チームによる多数の提案やワークライフバランス推進委員会の活動は評価できる。
- ・管理職に対する人事評価では、多面的な評価を取り入れ客観的になるシステムとされたい。
- ・離職率は、全国的に見てもとても低い。良い取組をしている。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B (おおむね計画どおり進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)

【 112 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計)／b 標準点×100) ※小数点以下切捨て

両病院とも増収対策や費用削減に取り組んだ結果、市立病院機構全体で当期純利益を確保しており、おおむね計画どおり進んでいると評価できる。

② 小項目評価の集計結果

項 目		評価	ウエイト	ウエイト 換算	
1 経営基盤の 強化	(1)経営基盤の強化と運営費負担 金の縮減	こども病院	4	2	8
		市民病院	3	2	6
	(2)投資財源の確保	3	1	3	
2 収支改善	(1)収益確保	こども病院	4	2	8
		市民病院	3	2	6
	(2)費用削減	3	2	6	
合計			11	a 37	
標準点(※全ての小項目評価が3)			b 33		

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1-(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減 ア福岡市立こども病院」
 ○全ての指標で目標値を上回っており、特に、経常収支比率は全国の小児専門病院の中で高い水準にあることなどを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減 イ福岡市民病院」
 ○指標の目標値に対する実績値の達成率が、平均で95%を超えていること、新型コロナウイルス感染症の対応に際しては、福岡市における感染症医療の中心的な役割を果たすため、一般病棟の病床確保を行っていることなどを勘案し、年度計画を順調に実施していると判断して、「評価3」とする。

「2-(1) 収益確保 ア福岡市立こども病院」
 ○一部の指標で目標値を下回っているものの、新規入院患者及び1人1日当たり入院単価等は目標値を上回っており、医業収益も予算を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「2-(1) 収益確保 イ福岡市民病院」
 ○指標の目標値に対する実績値の達成率が、平均で96%を超えていること、新型コロナウイルス感染症の対応に際しては、福岡市における感染症医療の中心的な役割を果たすため、一般病棟の病床確保を行っていることなどを勘案し、年度計画を順調に実施していると判断して、「評価3」とする。

④評価にあたっての意見, 指摘等

・福岡市民病院の減収の要因としている医療環境の変化について, 詳細な分析が必要。
 ・福岡市民病院の件費率が6割を超えていることは気になる。将来にわたってコストパフォーマンスを発揮されるよう期待する。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B (おおむね計画どおり進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある(特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる(100%以上 120%未満)	やや遅れている(100%未満)	重大な改善すべき事項がある(特に認める)

【 116 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計) / b 標準点 × 100) ※小数点以下切捨て

福岡市立こども病院においては, 医療機能の充実を図るとともに, 症例数で順調な成果を挙げていること, また, 福岡市民病院においては, 救急搬送の受入強化など地域の基幹病院としての役割を果たしていることなどから, おおむね計画どおり進んでいると評価できる。

② 小項目評価の集計結果

項 目	評価	ウエイト	ウエイト換算
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	4	2	8
2 福岡市民病院における経営改善の推進	3	2	6
合計		4	a 14
標準点(※全ての小項目評価が3)		b 12	

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1 福岡市立こども病院における医療機能の充実」
 ○川崎病センターの症例数や先天性心疾患に係る手術症例数が, 4年連続全国一となるとともに, 臨床研究においても川崎病の新病態を解明し, 欧州一流紙に発表するなどの成果を挙げたことを評価し, 年度計画を上回って実施していると判断されるため, 「評価4」とする。

④ 評価にあたっての意見, 指摘等

・福岡市立こども病院においては治療実績が優れていることや患者会を設置していること, 福岡市民病院においては新型コロナウイルス感染症発生の初期段階から対応していることなどを, 市民に向けてもっと広報すべき。
 ・新型コロナウイルス感染症以外の受診控えについてもデータ分析すべき。